

これからの都市緑化

- 都市と緑・農が共生する取り組みの推進
- 緑豊かで魅力的なまちづくりの実現

背景と目的

少子高齢化

社会資本の整備と老朽化の進行

財政面、人員面の制約の深刻化

国民の価値観の多様化

緑とオープンスペースの状況

- 都市公園ストックの一定の蓄積(10万箇所、12万ha)
- 設置から30年以上経過している都市公園が約4割
- 宅地化を前提としてきた市街地内農地は減少傾向
- 施設の老朽化と計画的かつ適切な維持管理の必要性
- 財政制約が深刻化する中で戦略的なマネジメント
- 防災、地域コミュニティの場など多面的な機能

今後の都市の方向性

- コンパクト・プラス・ネットワークの推進
- 都市と緑・農の共生の実現
- 大規模地震等の災害への対応
- 都市間競争を打ち勝つ個性



新たな時代の都市をつくる緑とオープンスペースの基本的考え方

ストック効果をより高める

民との連携を加速する

都市公園を一層柔軟に
使いこなす

都市緑地法の一部を改正する法律の一部施行(平成29年6月)

都市公園の再生・活性化

【都市公園法等】

- 都市公園で保育園等の設置が可能
- 民間事業者による公共還元型の収益施設の設置管理制度の創設
⇒収益施設(カフェ、レストラン等)の設置管理者を民間事業者から公募選定
⇒民間事業者が広場整備等の公園リニューアルを併せて実施
- 公園の活性化に関する協議会の設置

都市緑地の保全・活用

【生産緑地法、都市計画法、建築基準法】

- 生産緑地地区の一律500m²の面積要件を市町村が条例で引き下げ可能(300m²を下限)
- 生産緑地地区内で直売所、農家レストラン等の設置が可能
- 新たな用途地域の類型として田園住居地域を創設

地域の公園緑地政策全体のマスタープランの充実

【都市緑地法】

- 市区町村が策定する「緑の基本計画」の記載事項を拡充
- 都市公園の管理の方針、農地を緑地として政策に取り込み

【国の目標値】

民間活力を最大限活かして、緑・オープンスペースの整備・保全を効果的に推進し、緑豊かで魅力的なまちづくりを実現

- 民間活力による公園のリニューアル 約100件(2017~2021)
- 民間主体による市民緑地の整備 約70件(2017~2021)

緑とオープンスペースによる都市のリノベーションの推進

都市公園を使いこなすためのプランニングとマネジメントの強化

都市公園等の整備、運営における民間活力導入のための仕組みづくり

等が求められています!

弊社における提案

【緑とオープンスペースによる都市のリノベーション】

・緑の基本計画等による戦略的な都市再構築の推進

- 都市計画マスタープラン、立地適正化計画など**コンパクトプラスネットワーク**の考えと整合させた緑の基本計画の改定
- 緑の基本計画に都市公園、市民緑地等の整備、運営・管理における**民間活力導入**の考え方の整理

・都市公園の配置と機能の再編等の検討

- 都市公園の機能分担を念頭においた**公園再整備、再編マニュアル**の作成
- 地域ニーズを反映した公園再整備計画
- 長期未整備公園**にかかわる検討

・都市農地の保全・活用方針の検討

- 用途地域の見直し（**田園居住地域**の検討）
- 生産緑地の有効活用**方策検討

【弊社実績】

- ・緑の基本計画改定（埼玉県春日部市、佐賀県嬉野市、滋賀県彦根市、愛知県刈谷市ほか）
- ・公園再整備ガイドライン策定（千葉県松戸市）
- ・市民協働による公園緑地の再整備計画（千葉県松戸市、愛知県碧南市、愛知県新城市ほか）
- ・用途地域の見直し（沖縄県沖縄市、岐阜県土岐市ほか）

【都市公園を使いこなすためのプランニングとマネジメントの強化】

・都市公園マネジメントの推進

- 効果的な公園運営、住民が使いこなしていく空間とするための**パークマネジメント**プランの作成

・都市公園の特性に応じた多様な主体による公園運営の推進

- 公園の活性化に関する協議会の設置・運営
- 緑の基本計画に**都市公園の管理方針**の整理

【弊社実績】

- ・パークマネジメントプランの策定（静岡県沼津市、愛知県尾張建設事務所ほか）
- ・市民協働による管理運営計画の策定（長久手南部土地区画整理組合、岐阜県羽島市ほか）

【都市公園等の整備、運営における民間活力導入のための仕組みづくり】

・民との効果的な連携のための仕組みの検討

- 官民連携事業の可能性調査、-民間による公園の管理・運営
- 民間事業者を募集するためのアドバイザー

【弊社実績】

- ・PFI関連業務（愛知県豊田市、森林公園ゴルフ場運営（株）、群馬県高崎市ほか）